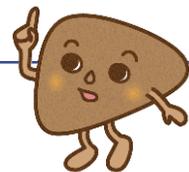


Q6.

胃食道静脈瘤に対して治療歴がある場合の、定期的内視鏡検査はどの様にした方が良いでしょう？



©2014 さが肝.net

COVID-19感染が疑われる症例では、緊急性がない場合は上部消化管内視鏡検査を延期をすることが推奨されています。

また糞便からのウイルス検出も報告されており、**下部消化管内視鏡検査も同様です。**

具体的には、

- ・感冒症状や37.5℃以上の発熱。
- ・2週間以内のCOVID-19感染患者や疑い患者との濃厚接触
- ・2週間以内の感染多発地域への渡航歴
- ・強い倦怠感や息苦しさ
- ・明らかな誘因のない味覚・嗅覚異常。
- ・明らかな誘因なく4－5日続く下痢等の消化器症状

などが認められる場合、内視鏡検査の延期を検討するべきです。

COVID-19感染が疑われない症例では、医療者はフェイスシールド付きマスク（またはゴーグル+マスク）・手袋・キャップ・ガウン（長袖）の着用、そして各種防護具は患者毎に取り換え、検査・治療終了後の手指から肘までのしっかりと洗剤が推奨されます。

検査の緊急性・必要性に関しては主治医と検討を行って下さい。



©2013 さが肝.net

<参考文献および引用文献> 日本消化器内視鏡学会；新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への消化器内視鏡診療についての提言（改訂第三版） 2020年4月9日

AASLD（米国肝臓学会）AASLD's Clinical Insights; <https://www.aasld.org/about-aasld/covid-19-resources>